2023年2月7日

関係各位

薬局だより

薬剤部　医薬品情報管理

定例薬事委員会において新規採用薬品等を下記のように決定いたしました。

1) 新規採用薬品

・全科採用：該当なし

・診療科限定採用薬品：該当なし

2) 診療科限定追加薬品：下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
心臓血管外科	サムタス点滴静注用8mg（薬価：1,160/瓶）	1瓶（8mg）：トルバプタンリン酸エステルナトリウム8.56mg	大塚製薬	通常、成人にはトルバプタンリン酸エステルナトリウムとして16mgを1日1回1時間かけて点滴静注する。	ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留

3) 患者限定追加薬品：下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
消化器内科	ペガシス皮下注180μg （薬価：17,719/瓶）	1ﾊﾞｲｱﾙ(1.0mL)：ペグインターフェロン　アルファ-2a（遺伝子組換え）180μg	中外製薬	＜C型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善＞ 使用にあたっては、HCV-RNAが陽性であることを確認したうえで行う。 通常、成人にはペグインターフェロン　アルファ-2a（遺伝子組換え）1回180μg（インターフェロン　アルファ-2a（遺伝子組換え）として）を週1回、皮下に投与する。 本剤の投与に際しては、患者の状態を考慮し、減量、中止等の適切な処置を行うこと。 ＜B型慢性活動性肝炎におけるウイルス血症の改善＞ 使用にあたっては、HBV-DNA量の測定等によりウイルスの増殖を確認したうえで行う。 通常、成人にはペグインターフェロン　アルファ-2a（遺伝子組換え）1回90μg（インターフェロン　アルファ-2a（遺伝子組換え）として）を週1回、皮下に投与する。なお、年齢、HBV-DNA量等に応じて、1回の投与量を180μgとすることができる。 本剤の投与に際しては、患者の状態を考慮し、減量、中止等の適切な処置を行うこと。	○C型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善 ○B型慢性活動性肝炎におけるウイルス血症の改善
皮膚科	スミスリンローション5% （薬価：2,211/30g1本）	1g：フェノトリン50mg	クラシエ	通常、1週間隔で、1回1本（30g）を頸部以下（頸部から足底まで）の皮膚に塗布し、塗布後12時間以上経過した後に入浴、シャワー等で洗浄、除去する。	疥癬
麻酔科	ベクロニウム静注用4mg「F」 （薬価：205/管）	4mg1管：ベクロニウム臭化物4mg	富士製薬工業	通常、成人には初回量ベクロニウム臭化物として0.08～0.1mg/kgを静脈内投与し、術中必要に応じて0.02～0.04mg/kgを追加投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。	麻酔時の筋弛緩、気管内挿管時の筋弛緩

脳神経内科	ピリヴィジェン10%静注10g/100mL、20g/200mL（薬価：10g/100mL：76,609/瓶、20g/200mL：150,934/瓶）	1瓶(10g/100mL)：人免疫グロブリンG 10g 1瓶(20g/200mL)：人免疫グロブリンG 20g	CSL ベーリング	＜無又は低ガンマグロブリン血症＞ 通常、1回人免疫グロブリンGとして200～600mg（2～6mL）/kg体重を3～4週間隔で点滴静注又は緩徐に静注する。患者の状態によって適宜増減する。 ＜慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の筋力低下の改善＞ 通常、成人には1日に人免疫グロブリンGとして400mg（4mL）/kg体重を5日間連日点滴静注する。 ＜慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の運動機能低下の進行抑制（筋力低下の改善が認められた場合）＞ 通常、成人には人免疫グロブリンGとして「1,000mg（10mL）/kg体重を1日」又は「500mg（5mL）/kg体重を2日間連日」を3週間隔で点滴静注する。	○無又は低ガンマグロブリン血症 ○慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の筋力低下の改善 ○慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の運動機能低下の進行抑制（筋力低下の改善が認められた場合）
呼吸器内科	ルマケラス錠120mg（薬価：4,204.30/錠）	1錠：ソトラシブ120mg	アムジェン	通常、成人にはソトラシブとして960mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。	がん化学療法後に増悪したKRAS G12C変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
感染症内科	ステルイズ水性懸濁筋注240万単位ｼﾘﾝｼﾞ（薬価：9,049/筒）	1ｼﾘﾝｼﾞ：ベンジルペニシリンベンザチン水和物（日局）240万単位	ファイザー	成人及び13歳以上の小児 ＜早期梅毒＞ 通常、ベンジルペニシリンとして240万単位を単回、筋肉内に注射する。 ＜後期梅毒＞ 通常、ベンジルペニシリンとして1回240万単位を週に1回、計3回、筋肉内に注射する。 2歳以上13歳未満の小児 ＜早期梅毒＞ 通常、ベンジルペニシリンとして240万単位を単回、筋肉内に注射する。なお、年齢、体重により適宜減量することができる。 ＜後期梅毒＞ 通常、ベンジルペニシリンとして1回240万単位を週に1回、計3回、筋肉内に注射する。なお、年齢、体重により適宜減量することができる。 2歳未満の小児 ＜早期先天梅毒、早期梅毒＞ 通常、ベンジルペニシリンとして体重1kgあたり5万単位を単回、筋肉内に注射する。	＜適応菌種＞ 梅毒トレポネーマ ＜適応症＞ 梅毒（神経梅毒を除く）

血液腫瘍内科	カブリビ注射用10mg（薬価：515,532/瓶）	1ﾊﾞｲｱﾙ(10mg)：カプラシズマブ（遺伝子組換え）12.5mg	サノフィ	成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児には、本剤の投与初日は、血漿交換前に10mgを静脈内投与し、血漿交換終了後に10mgを皮下投与する。その後の血漿交換期間中は、血漿交換終了後に1日1回10mgを皮下投与する。血漿交換期間後は、1日1回10mgを30日間皮下投与する。 なお、患者の状態に応じて、血漿交換期間後30日間を超えて本剤の投与を継続することができる。	後天性血栓性血小板減少性紫斑病
脳神経内科	マイテラーゼ錠10mg（薬価：17.30/錠）	1錠：アンベノニウム塩化物（日局）10mg	アルフレッサファーマ	アンベノニウム塩化物として、通常成人1日15mgを3回に分割経口投与する。 なお、症状により適宜増減する。	重症筋無力症
循環器内科	ロスーゼット配合錠HD（薬価：148.20/錠）	1錠：エゼチミブ／日本薬局方 ロスバスタチンカルシウム10mg/5.2mg（ロスバスタチンとして5mg）	バイエル	ロスーゼット配合錠LD 通常、成人には1日1回1錠（エゼチミブ／ロスバスタチンとして10mg/2.5mg）を食後に経口投与する。 ロスーゼット配合錠HD 通常、成人には1日1回1錠（エゼチミブ／ロスバスタチンとして10mg/5mg）を食後に経口投与する。	高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症
呼吸器内科	ワントラム錠100mg（薬価:93.60/錠）	1錠：トラマドール塩酸塩100mg	ファイザー	通常、成人にはトラマドール塩酸塩として100～300mgを1日1回経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。ただし、1日400mgを超えないこととする。	非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における鎮痛 〇疼痛を伴う各種癌 〇慢性疼痛
小児外科	ツムラ28越婢加朮湯エキス顆粒（医療用）（薬価：26.75/包）	18.0g(6包)中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.75gと日局コウイ10.0gを含有 日局シャクヤク　6.0g 日局オウギ　4.0g 日局ケイヒ　4.0g 日局タイソウ　4.0g 日局カンゾウ　2.0g 日局ショウキョウ　1.0g	ツムラ	通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。	浮腫と汗が出て小便不利のあるものの次の諸症 腎炎、ネフローゼ、脚気、関節リウマチ、夜尿症、湿疹
	ツムラ98黄耆建中湯エキス顆粒（医療用）（薬価：5.40/g）			通常、成人1日18.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。	身体虚弱で疲労しやすいものの次の諸症 虚弱体質、病後の衰弱、ねあせ

4）診療科限定再審議薬品（本採用結果）

・リハビックス-K2号輸液：診療科限定（小児外科と新生児集中治療部の2科）のままで

・オラネジン液1.5%OR消毒用アプリケータ25mL：2023年1月より薬剤部よりSPDへ移行

・ツイミーグ錠500mg：診療科限定（糖尿病内分泌内科）のままで

5) 販売/供給中止・回収・出荷調整等に伴う変更(在庫なくなり次第変更予定)

(変更前薬品名)		(変更後薬品名)
・サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット(ﾆｭｰﾆｯﾄ/ｶﾞｰｾﾞ型/綿型)	→	医療機器(SPD)へ移行
・ピペリデン塩酸塩錠1mg「ヨシトミ」	→	アキネトン錠1mg
・シグマビタン配合カプセルB25	→	ビタメジン配合カプセルB25
・乳酸カルシウム「コザカイ・M」	→	乳酸カルシウム水和物〈ハチ〉原末
・ジメチコン錠40mg「YD」	→	ガスコン錠40mg
・ミダゾラム注射液10mg「テバ」	→	ミダゾラム注射液10mg「NIG」
・【患者】アルプロスタジル注5μg「武田テバ」	→	【患者】アルプロスタジル注5μg「NIG」
・抗グロブリン筋注用1000倍「ニチヤク」	→	抗D人免疫グロブリン筋注用1000倍「JB」
・【患者】フルバスタチン錠20mg「三和」	→	【患者】フルバスタチン錠20mg 「サワイ」

6) 削除薬品(在庫なくなり次第削除予定)

・アドソルビン原末　:出荷停止のため削除

・テーカイン原末　:販売中止のため削除

・注射用パニマイシン100mg　:期限切れのため削除

・ファロム錠200mg　:期限切れのため削除

・ユナシン錠375mg　:ABPCの含有量少なく(750mg/日)＋使用量減少のため削除

※ 代替薬:オーグメンチン配合錠250RS+アモキシシリンカプセル250mg「日医工」

・アデホスコーワ腸溶錠60　:期限切れのため削除

7) 採用区分/剤型変更等

① 剤型変更/規格変更/規格追加(在庫なくなり次第変更予定)

・【科】炭酸リチウム錠200mg「大正」:リーマス100mg錠に規格追加

※ 複数規格となるため200mgは後発品(AG)を採用

・【患者】ゴナックス皮下注用240mg:【患者】ゴナックス皮下注用80mgと120mgに規格追加

・【患者】コセンティクス皮下注300mgペン:【患者】コセンティクス皮下注150mgペンに規格追加

・【患者】ピシバニール注射用1KE:【患者】ピシバニール5KEに規格追加

・【科・患者】レキサルティ錠1mg:【科・患者】レキサルティOD錠1mgへ剤型変更

② 採用区分変更

【全科採用】→【診療科限定】【患者限定】へ変更

・リーマス錠100mg

【全科採用】→【患者限定】へ変更

・エンドキサン錠50mg

・ベサノイドカプセル10mg

・ハベカシン注射液200mg4mL

【診療科限定】→【患者限定】へ変更

・カデックス軟膏分包45mg　5g/枚

8) 後発品へのへ変更(在庫なくなり次第変更予定)

① 先発→後発

・サムスカOD錠7.5mg→トルバプタンOD錠7.5mg「TE」

※　適応相違あるため、サムスカOD錠15mgは後発に変更せず

・ネキシウムカプセル20mg→エソメプラゾールカプセル20mg「サワイ」

・キュビシン静注用350mg→ダプトマイシン静注用350mg「サワイ」

※　適応相違あるため、キュビシン静注用350mgは【全科採用】→【患者限定】へ変更し、採用継続

・ロゼレム錠8mg→ラメルテオン錠8mg「トーワ」